

パラダイス・ライド・カウアイにおける寄付の使用用途について（和訳）

ご存知の通り「マラマポノ」はこのカウアイ島で HIV 患者や HIV 感染予防に携わるただ一つのサービス提供機関です。その活動内容はコンドームの配布、検査、そして学校や地域イベントなどを通じてのコミュニティーへの教育などがあり、さらにこの団体はエイズ患者に対するサービスも行っています。

昨年開催されたこのイベントでの、アウトリーチや教育活動は非常に大きな成功を納めていて現在、新しく HIV に感染したケースは報告されていません。

マラマ・ポノの使命は現在さらに拡大され、今も広がり続ける肝炎や性行為感染症の問題に対するケアや教育にまで及んでいます。ご存知の通り、今日、HIV は医師との継続的な治療、適切な処方箋、そして生活習慣を改善することで、制御することが可能な病気です。

このイベントに対しての寄付や収益金はカウアイ島の HIV 患者への以下のサービスに充てられます。

1. 患者がまだ職務に就いていながら、経済的な緊急事態で電気代や電話代が支払えない場合、マラマ・ポノが援助を行う。
2. 患者が運転できない、もしくは移動に援助が必要な場合、マラマ・ポノがバス定期券（月間）、またはガソリンのクーポンを支給する。
3. 患者が食品や食事に援助が必要な場合、マラマ・ポノが缶詰の果物、野菜、肉やその他の保存食品を供給する。
4. 患者に体操や理学療法が必要な場合、マラマ・ポノがジムの費用を援助したり、整体師の協力を援助する。
5. 患者が仕事ができなくなり、政府の援助で生活せざるを得なくなった場合、住居を探す協力をする。
6. 患者が仕事が出来なくなり、政府の援助で生活せざるを得なくなった場合、マラマ・ポノがさらに必要な食料など生活必需品をまかなうために、地元の商店の商品券やクーポンを提供する。

これらは彼らの活動内容の、ほんの一部ですが、HIV 患者がどのような助けを必要としているかは、お解かりになっていただけたらと思います。

日本の方は、個人的な懸念や問題について話したり、経済的な援助を依頼することは好まないかもしれませんが、私は個人的に何人かの日本人の HIV 患者が援助を必要としていたことを知っています。マラマ・ポノのような団体があったからこそ、彼らに必要な援助を提供することが出来ました。私たちの友人や愛する人達の多くが HIV 患者だったり、HIV によって亡くなっているのです。出来る限りの方法で、彼らの生活を少しでも楽にするために常に資金を集める努力をしています。私自身も、パラダイスライドに関わるボランティアの一人ですので、このカウアイ島の患者たちに直接関わり、どれだけこの活動が大切かを理解しながらボランティアを続けているのです。

もしも、より詳しく資金の調達や運用についてご理解されたいのであれば、どうぞお気軽にお尋ねください。あたらしい参加者パッケージにいくつかの効果的な資金調達案が掲載されています。例えば誕生日パーティーで友達、親戚、同僚からプレゼントの代わりに寄付を募り、マラマ・ポノへの献金として使う事を理解してもらう、などです。

お元気で、そして日本の参加者の方々に宜しくお伝えください。助けが必要であればいつでも声をかけてください。まだ新しいウェブサイトをご覧になっていなければ是非チェックしてみてください。

Ed Goka